

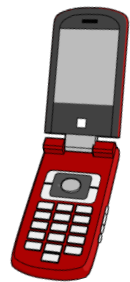
# し かくしょうがい かた ～視覚障害のある方～

さいがい お さいがいはっせいじ しょうがい かた おお せいかく  
災害はいつ起こるかわかりません。災害発生時には、障害のある方の多くは正確  
な情報収集や自力での避難が困難なため、大きな被害を受ける可能性が高くなる  
ことが想定されます。

ひ ごろの 備えを 十分に 行うことは、「自分の命は自分で守る」という観点から  
とても大切なことです。

## 1. 避難するときの持ち物

- ◎白杖
- ◎普段飲んでいる薬
- ◎時計（音声、触知式のもの）
- ◎点字板やメモ用録音機
- ◎ラジオ
- ◎携帯電話
- ◎障害者手帳やお薬手帳
- ◎家族写真（避難所等で、家族を探してもらうため）



## 2. 普段からの備え

- ◎白杖やラジオ、携帯電話は常に身近な場所に置きましょう。
- ◎家具は固定、ガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう。
- ◎非常用持ち出し袋を用意し、常に一定の場所に置きましょう。
- ◎避難時のケガを防ぐため、手袋や厚底の靴を用意しておきましょう。

## 3. 災害が起きたら

- ◎まずは、ラジオやテレビ、防災無線などで情報の把握に努めましょう。
- ◎避難が必要な場合、落下物や転倒物などで道路に影響が出ているおそれがあります。慎重に移動し、周囲の人の支援を積極的に求めましょう。
- ◎地震などの場合、二次災害を防ぐため、火の元の点検などを周囲の人にお願ひ  
しましう
- ◎避難場所ではトイレの位置などを確認し、なるべく移動の少ない場所で落ち着  
けるよう、配慮してもらいましょう。
- ◎情報は文書で提示されることも多いため、情報不足に陥りがちです。周囲の人に  
視覚障害があることを伝え、わからないことは積極的に尋ねましょう。